

ヒロセ電機 2020年3月期 決算説明会

# 2020年3月期 決算説明会

**2020年5月29日**

**ヒロセ電機株式会社**

[6806]

## 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

## 2019年度 (2019/4 ~ 2020/3) ビジネス概況

2019年度  
(4月~3月)

受注高 **1,253.6** 億円  
(対前年同期比 -2.6%)

売上高 **1,217.6** 億円  
(対前年同期比 -2.3%)

営業利益 **203.6** 億円 ※利益率 **16.7%**  
(対前年同期比 -12.1%)

景況感の悪化に加え、自動車販売不振等による停滞感の継続、さらにコロナウイルス影響もあり、減収・減益となった。

### 一般産機

一般産機市場向け売上は、昨年度後半から続いていた減少傾向の回復に時間がかかっており、対前年同期比では、-14%となった。

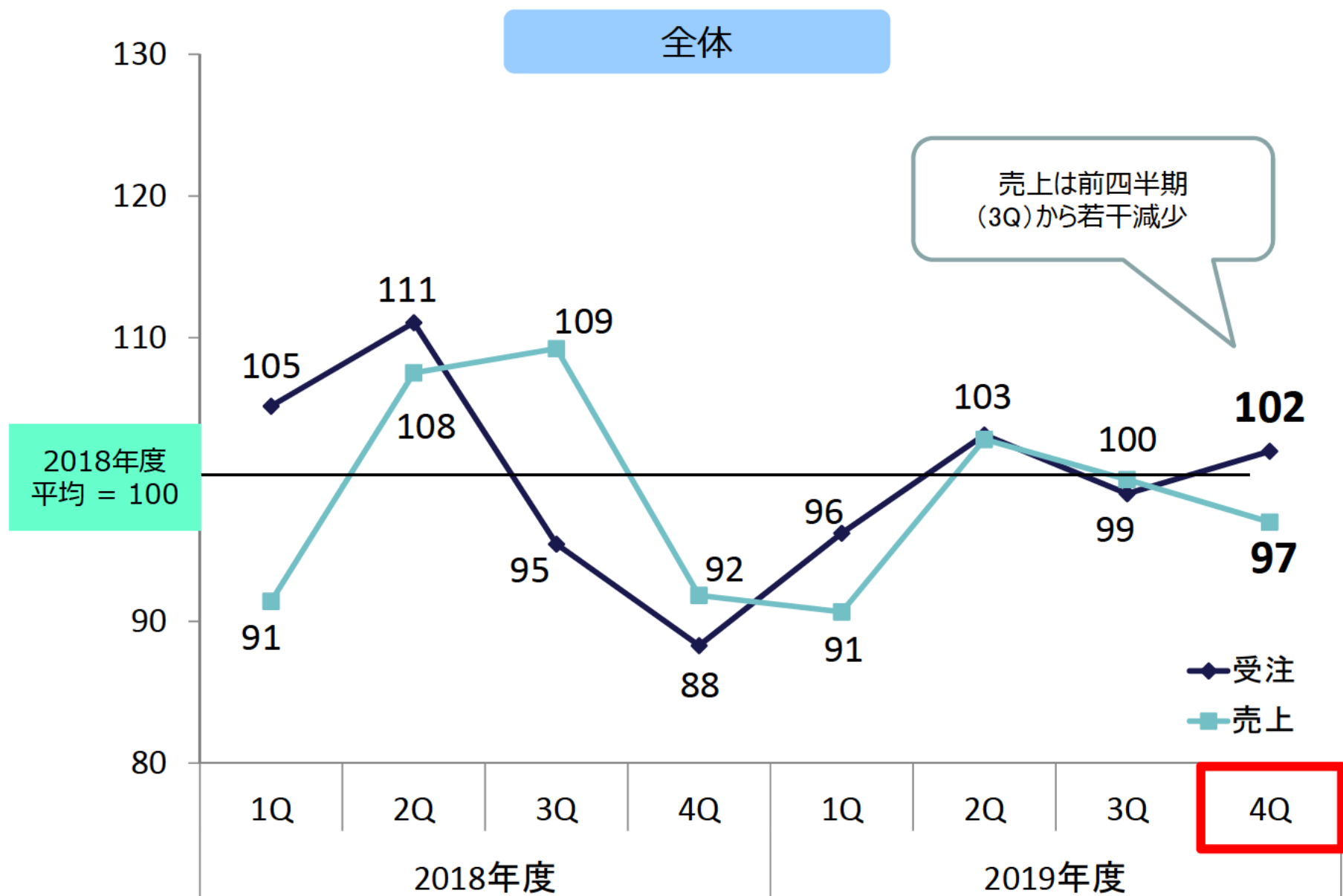
### スマートフォン

スマートフォン市場向け売上は、2Q、3Qに続き4Qでも高水準を維持し、対前年同期比 +9% となった。

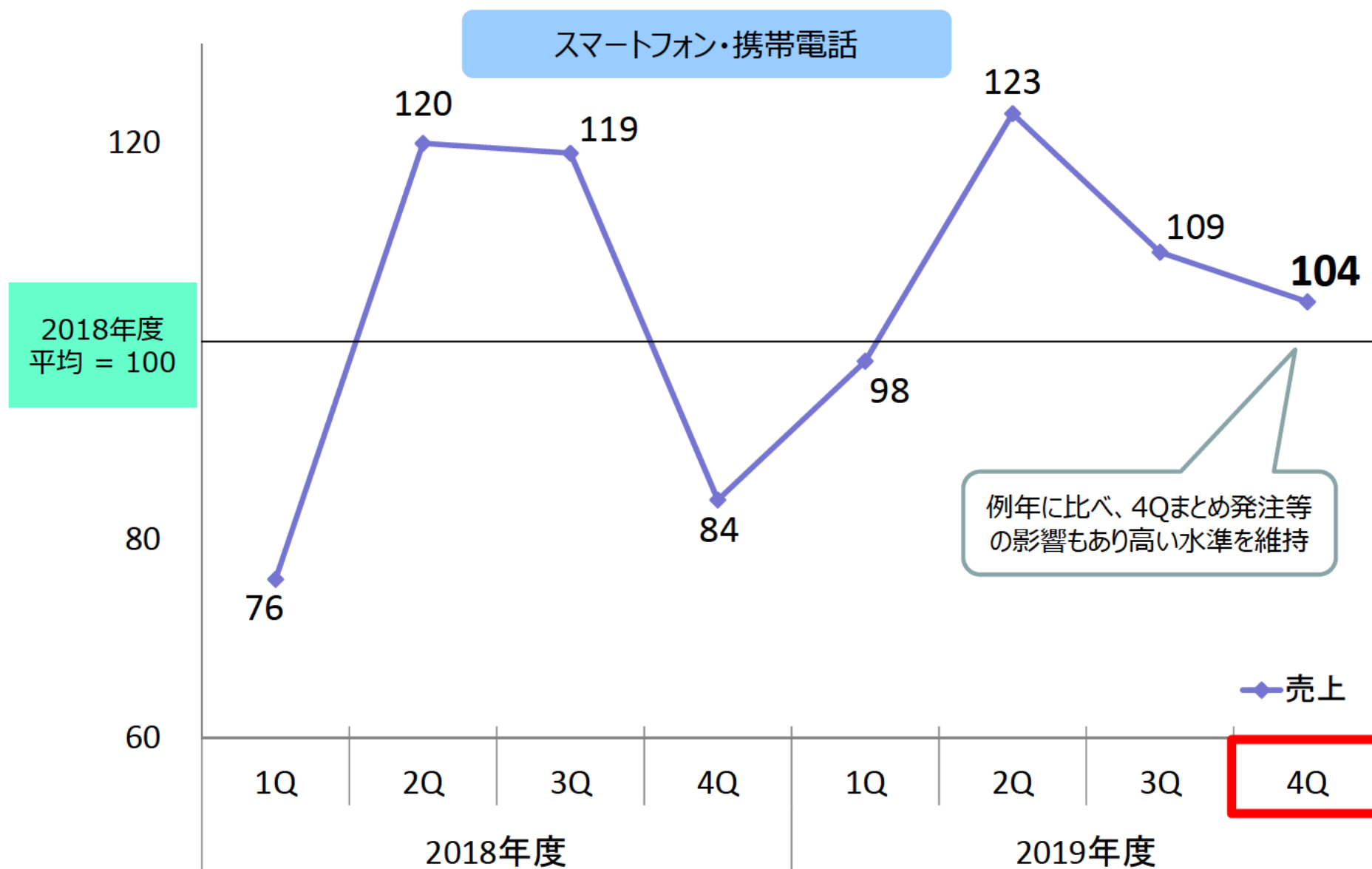
### 自動車

自動車市場向け売上は、自動車の販売不振が回復せず、既存品の減少が続き、対前年同期比 -1% となった。

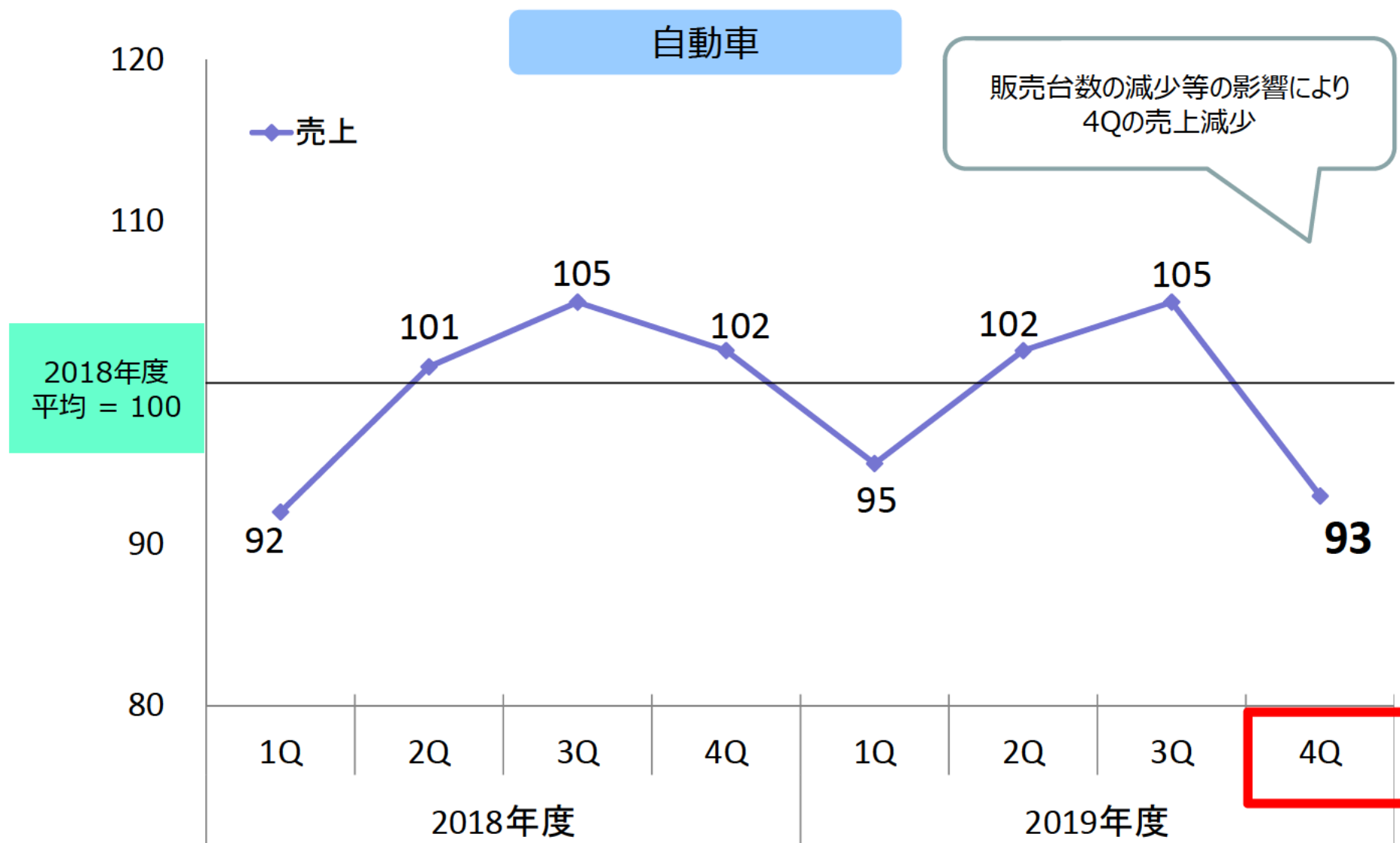
## 2018年度1Q~2019年度4Q 受注・売上推移 (ヒロセ連結ベース、指数表示)



## 2018年度1Q～2019年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

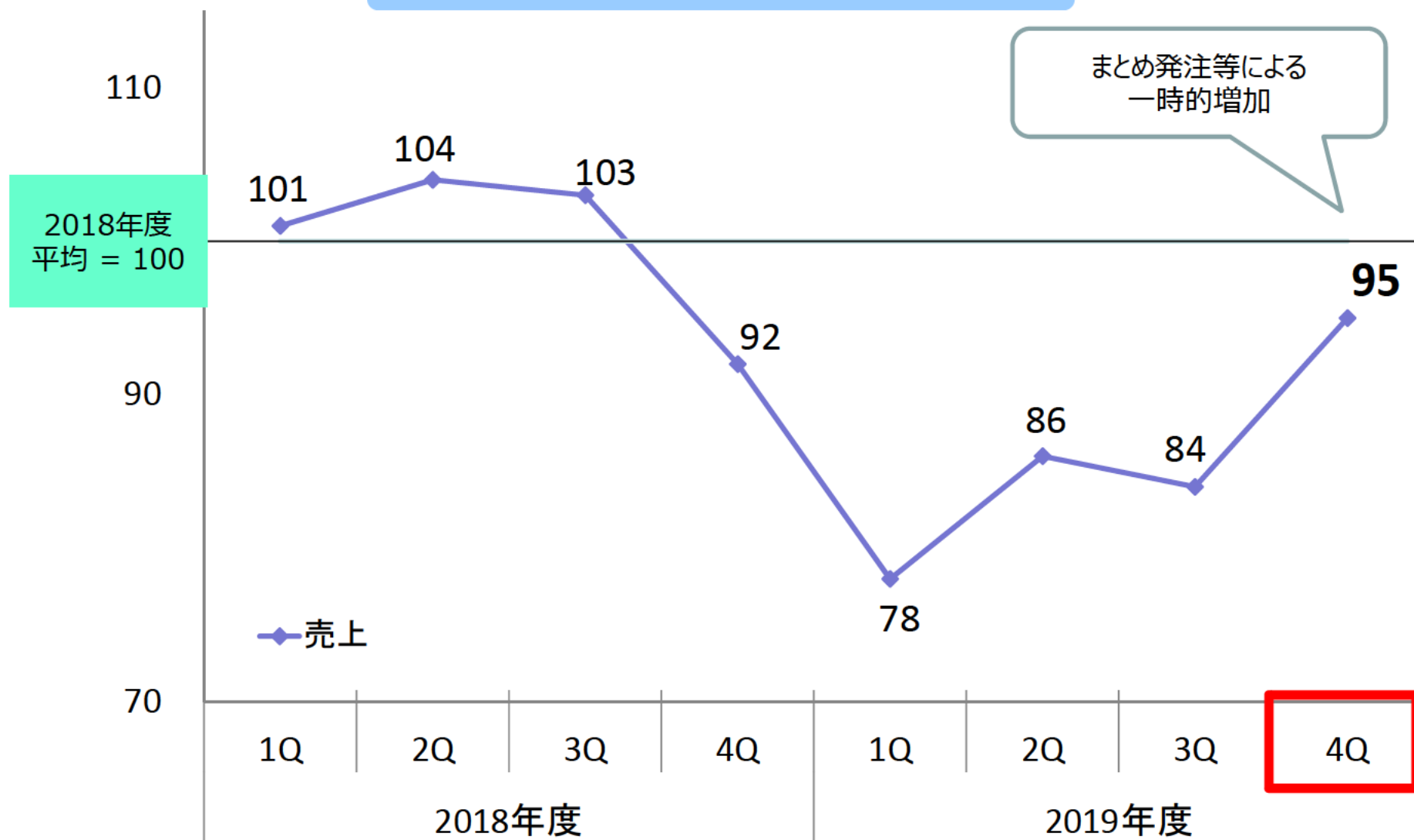


## 2018年度1Q～2019年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）



## 2018年度1Q～2019年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

## 一般産機（電子応用、F A制御、その他）



## 2019年度 連結決算概要

(金額単位：億円)

	2018年度 (2019/3月期)	2019年度 公表値 (11/1)	2019年度 (2020/3月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)
<b>売上高</b>	<b>1,245.9</b>	<b>1,250.0</b>	<b>1,217.6</b>	<b>-28.3</b>	<b>-2.3%</b>
売上原価率	56.2%	58.4%	57.8%	+1.6	
販売・管理費比率	24.8%	24.5%	25.0%	+0.2	
<b>営業利益</b>	<b>231.6</b>	<b>220.0</b>	<b>203.6</b>	<b>-28.0</b>	<b>-12.1%</b>
(%)	18.6%	17.6%	16.7%	-1.9	
<b>税引前利益</b>	<b>246.7</b>	<b>230.0</b>	<b>212.1</b>	<b>-34.6</b>	<b>-14.0%</b>
(%)	19.8%	18.4%	17.4%	-2.4	
<b>当期利益</b>	<b>178.9</b>	<b>175.0</b>	<b>153.1</b>	<b>-25.8</b>	<b>-14.5%</b>
(%)	14.4%	14.0%	12.6%	-1.8	
総資産残高	<b>3,414.3</b>		<b>3,426.4</b>		
自己資本比率	<b>90.0%</b>		<b>89.3%</b>		
1株当たり当期利益	<b>489.46円</b>		<b>420.39円</b>		



## 2019年度 対前年同期主要増減

(単位：億円)

■ 売上高 **28.3 億円 減** (1,245.9 億円 → 1,217.6 億円)

ヒロセ単体 : -27.8 億円  
子会社 : -0.5 億円

■ 売上原価率 **1.6 ポイント悪化** (56.2% → 57.8%)

仕入原価費率 : 38.8% → **39.1 %**  
減価償却費率 : 8.7% → **10.5 %**

■ 販売・管理費比率 **0.2 ポイント悪化** (24.8% → 25.0%)

309.1 億円 → 304.7 億円 (4.5億円 減少)

■ 金融収益・費用 **6.7 億円 悪化** (+15.1 億円 → +8.5 億円)

為替差損益 : **+4.0 億円** → **-2.5 億円**

## 2019年度 対前年同期 変動分析

単位：億円

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
<b>2018年度実績</b>	<b>1,245.9</b>	<b>231.4</b>	<b>18.6%</b>	<b>246.5</b>	<b>19.8%</b>
為替影響	-35.1	-14.8		-21.8	
減価償却費増		-27.2		-27.2	
人件費増		-2.2		-2.2	
物量増	6.9	4.0		4.0	
土地売却益		8.4		8.4	
郡山水害費用		-13.3		-13.3	
販管費減（償却・人件費除く）		8.4		8.4	
その他		8.9		9.3	
変動額計	-28.3	-27.8		-34.4	
<b>2019年度実績</b>	<b>1,217.6</b>	<b>203.6</b>	<b>16.7%</b>	<b>212.1</b>	<b>17.4%</b>

## 2019年度 為替影響

	2018年度 累計	2019年度 累計
為替レート：US\$	110.91円	108.74円
為替レート：€	128.41円	120.82円
為替レート：100ウォン	9.98円	9.21円



(単位：億円)

対前年同期為替影響額	
売上高	<b>-35.1</b>
営業利益	<b>-14.8</b>
税引前利益	<b>-21.8</b>

## 連結貸借対照表主要増減

(億円)

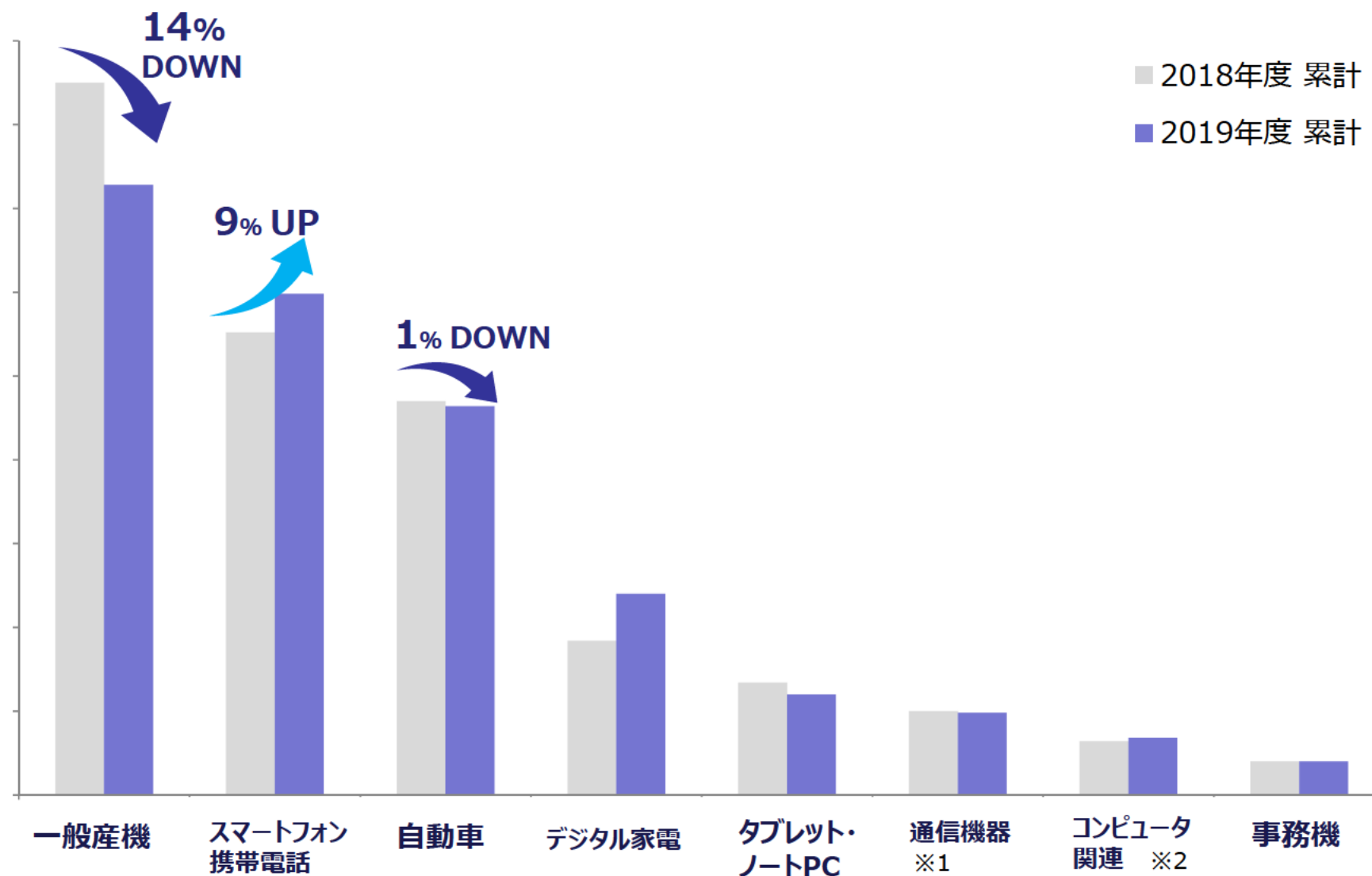
分	科目	2019/3末	2020/3末	増減額	備考
資	現金及び 現金同等物	523.2	505.6	-17.6	配当金、法人税の支払い他
	営業債権及び その他の債権	295.4	304.4	9.0	売上債権+11.8 未収入金△2.3 他
	棚卸資産	139.4	145.1	5.8	
産	その他金融資産	1,728.9	1,706.8	-22.1	
	有形固定資産	627.4	615.4	-12.0	
	使用权資産	—	44.8	44.8	IFRS16号適用によりリース取引を 資産計上
	その他	100.0	104.3	4.3	
	合計	3,414.3	3,426.4	12.1	
	現預金合計	1,727.6	1,674.5	-53.0	

## 連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	2019/3末	2020/3末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	193.1	167.5	-25.6	設備未払金 △16.0 支払債務 △7.3
	リース負債	—	44.9	44.9	IFRS16号適用によりリース取引を 負債計上
	未払法人税	30.9	29.6	-1.2	
	その他	117.1	123.0	5.9	
	合計	341.0	365.0	24.0	
純 資 産	資本金及び 資本剰余金	207.2	207.0	-0.2	
	利益剰余金	3,033.5	3,083.4	49.9	当期利益 153.1 億円、配当 △87.5億 円、自己株消却 △14.8
	自己株式	-232.1	-244.6	-12.4	自己株式消却+14.8、自己株式取得 △27.6
	その他	64.8	15.6	-49.2	
	合計	3,073.3	3,061.4	-11.9	
	負債及び純資産合計	3,414.3	3,426.4	12.1	

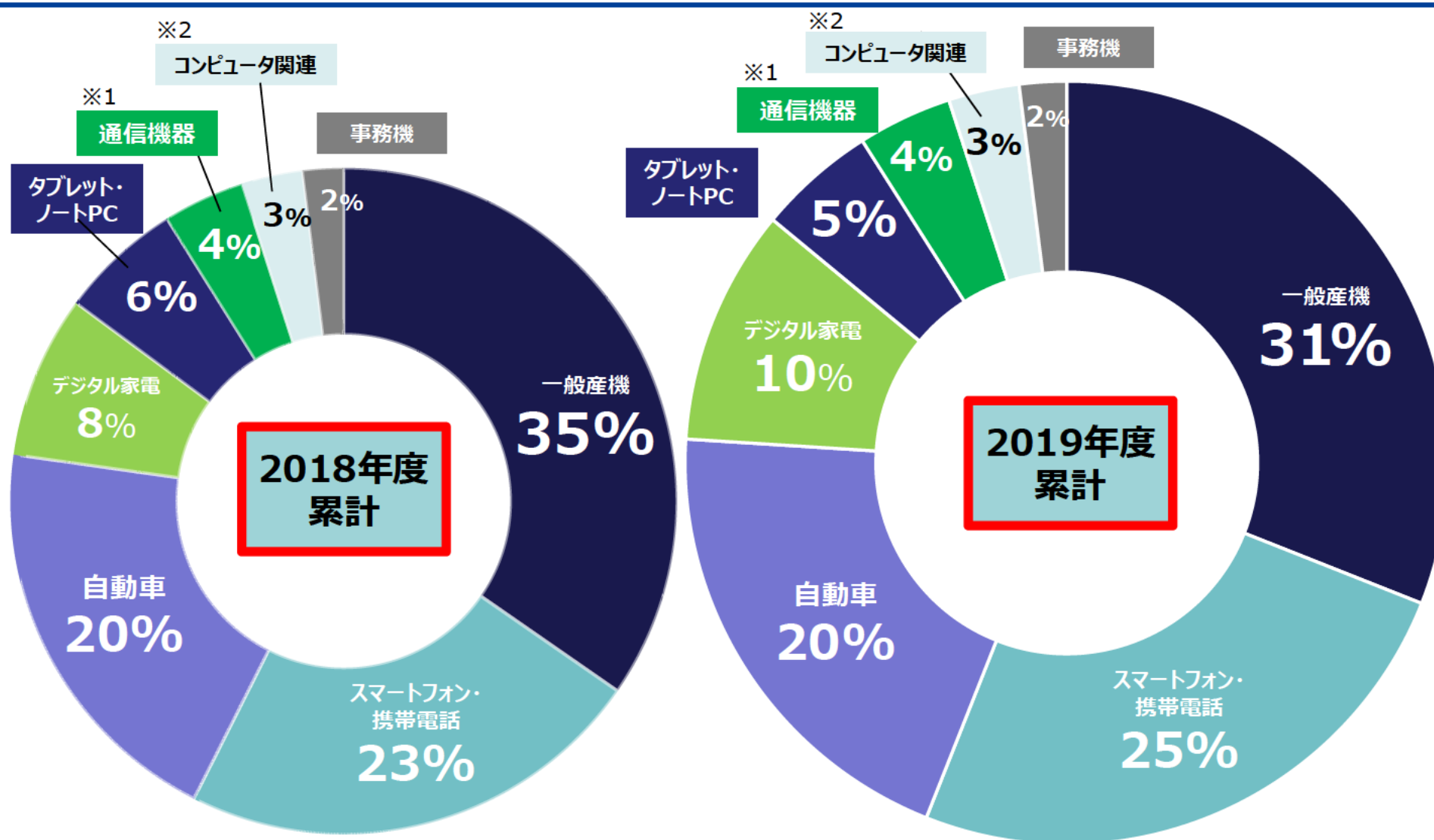
# コネクタ用途別売上 前年比較（概数）【連結ベース】



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性  
があることをご承知願います。

※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器  
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

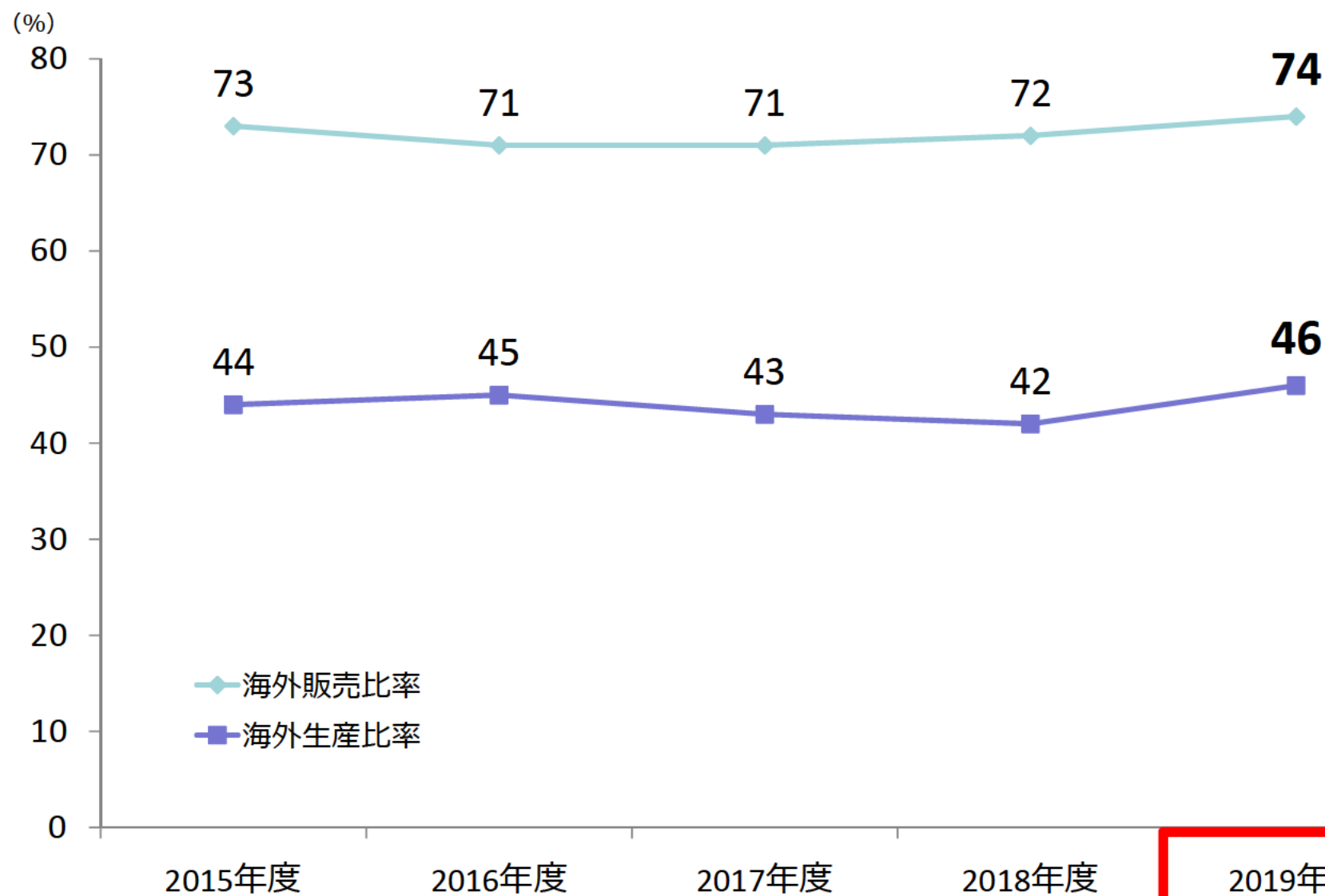
# コネクタ用途別売上構成比（概数）【連結ベース】



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性  
があることをご承知願います。

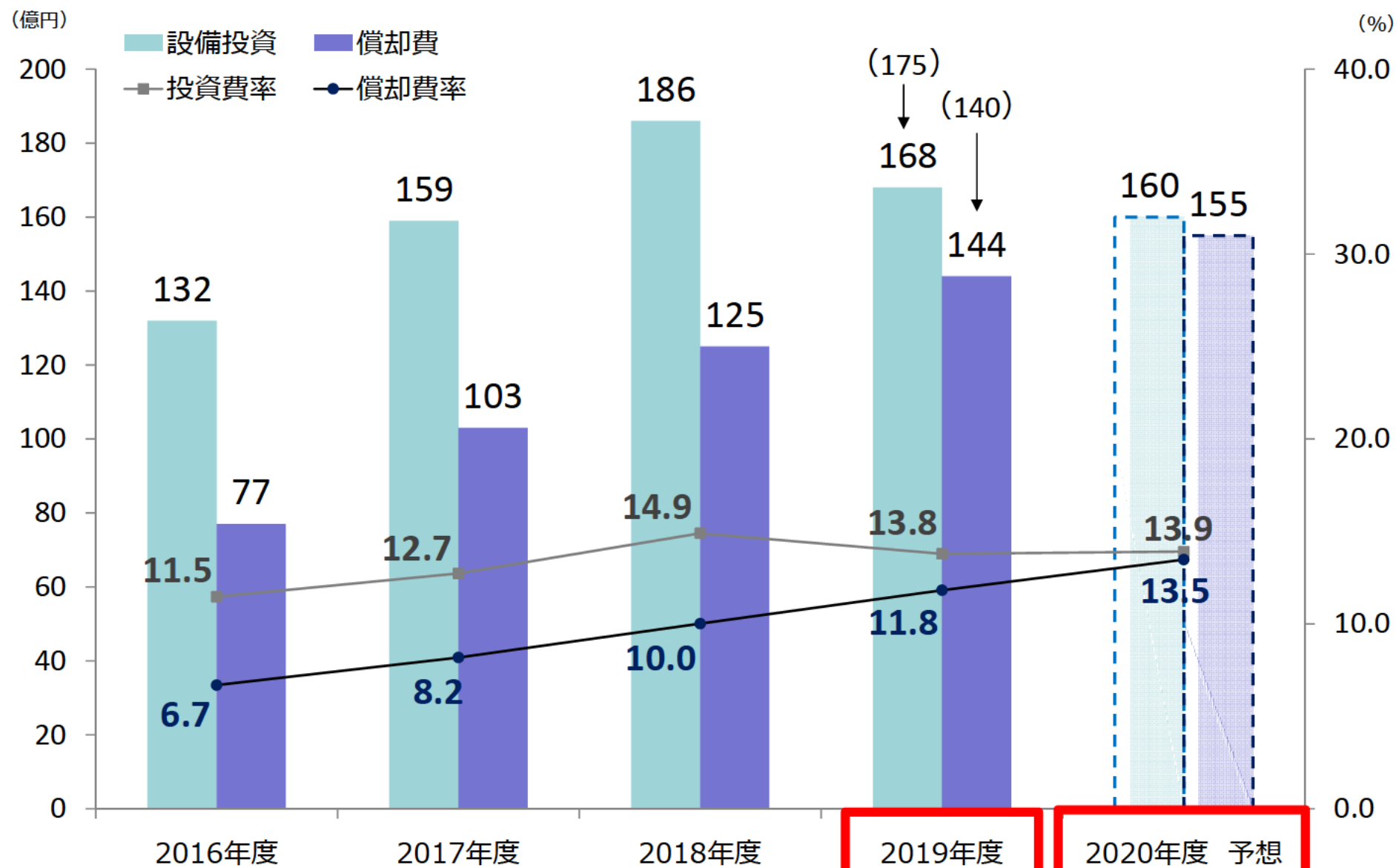
※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器  
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

## 海外生産比率・海外販売比率 推移



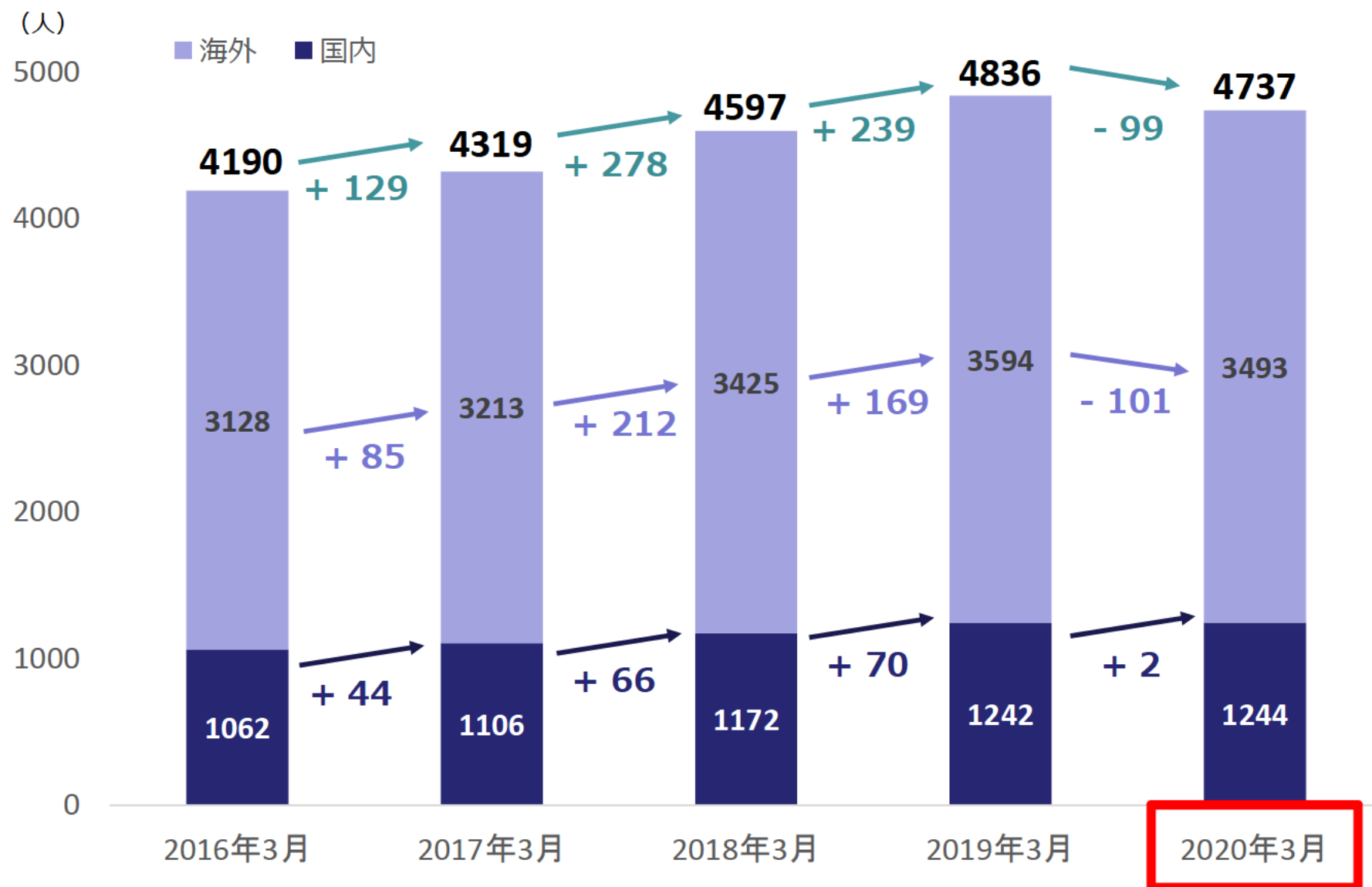


# 設備投資・償却費 推移 (連結ベース)

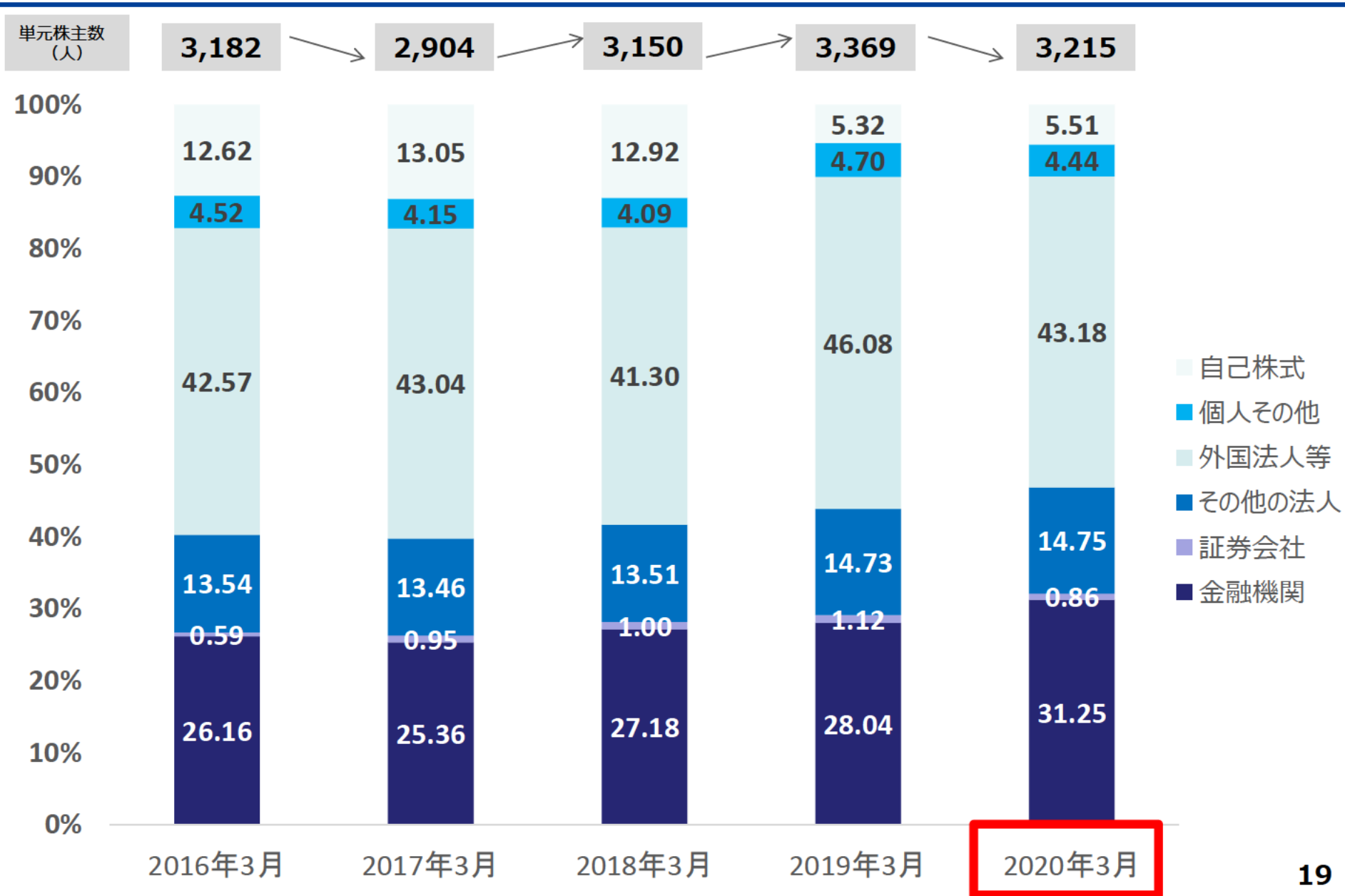


(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

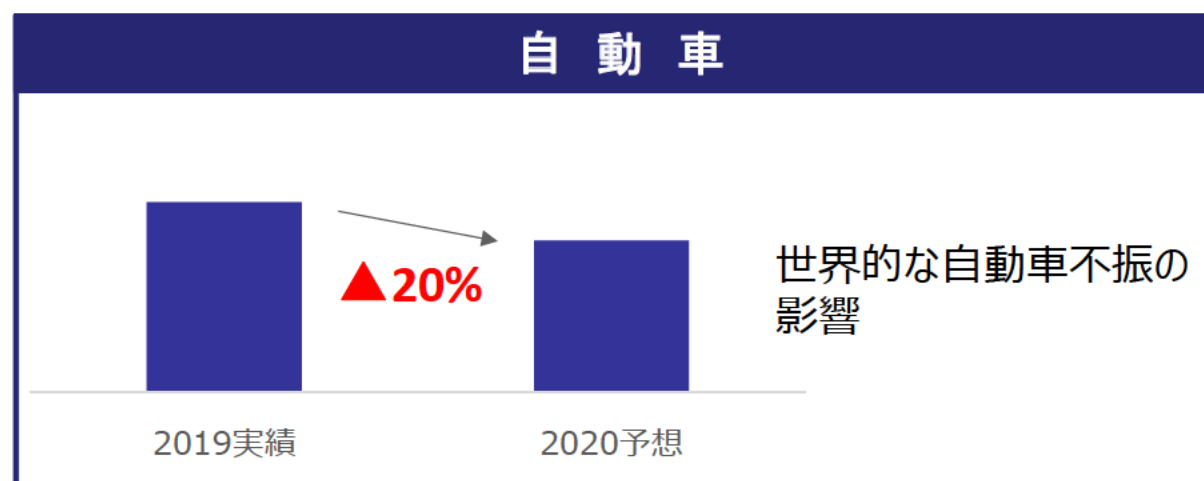
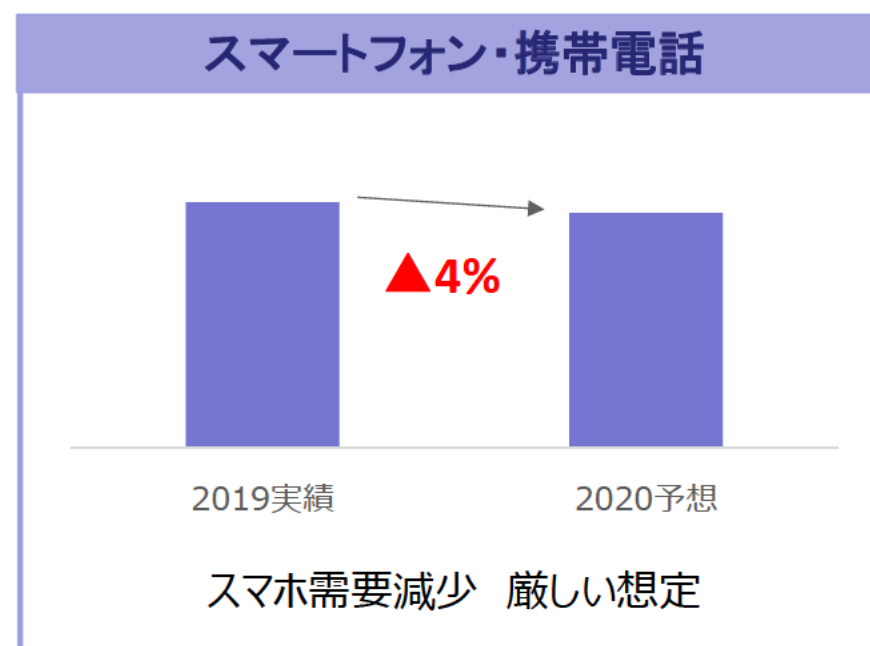
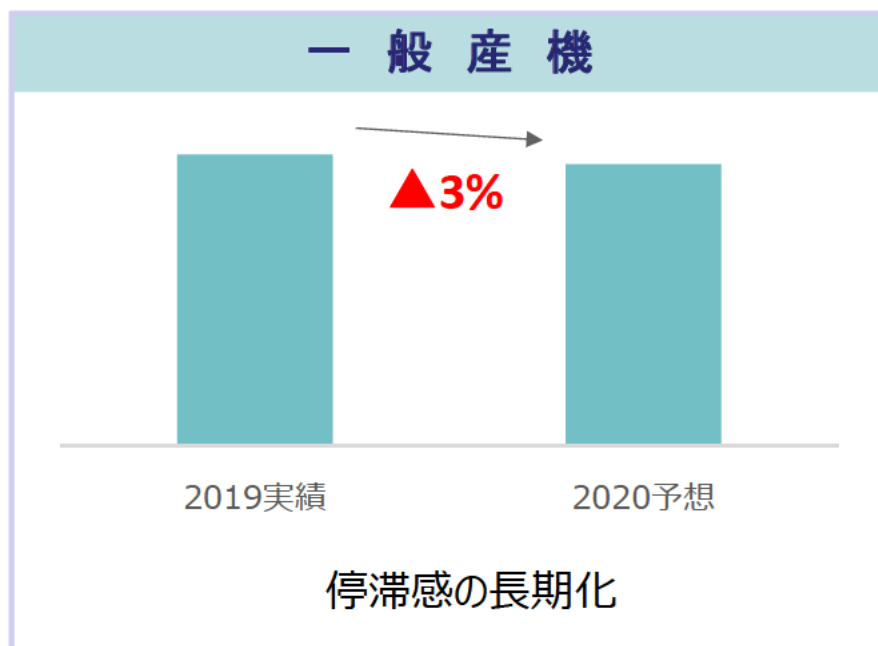
## 従業員数 推移 (有報ベース)



# 株式分布推移



## 2020年度 分野別 動向（予想）



## 2020年3月期 業績予想（連結）

（金額単位：億円）

	2019年度（2020/3月期） 実績		2020年度（2021/3月期） 予想		第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績	
	第2四半期累 計	通期	第2四半期累 計	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	602.7	1,217.6	500.0	1,150.0	-102.7	-17.0	-67.6	-5.6
売上原価率	57.1%	57.8%	60.0%	60.4%				
営業利益	115.3	203.6	85.0	172.0	-30.3	-26.3	-31.6	-15.5
(%)	19.1%	16.7%	17.0%	15.0%				
税前利益	120.9	212.1	90.0	180.0	-30.9	-25.5	-32.1	-15.1
(%)	20.1%	17.4%	18.0%	15.7%				
当期利益	85.7	153.1	60.0	130.0	-25.7	-30.0	-23.1	-15.1
(%)	14.2%	14.4%	12.0%	11.3%				
一株当り当期利益	—	420.39円	—	358.45円				
一株当り配当	120円	240円	120円	240円				
連結配当性向	—	57.1%	—	67.0%				

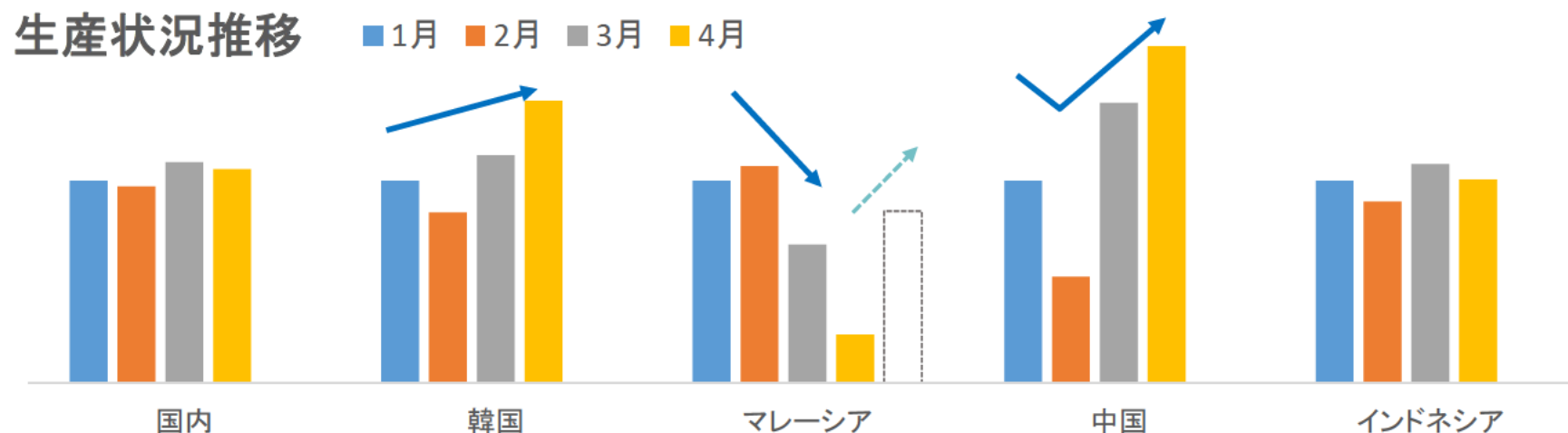
  

為替レート	2019年度実績	2020年度予想 (今回)
1US\$	108.74円	107.00円
1€	120.82円	117.00円
100ウォン	9.21円	8.80円

## 新型コロナウイルス拡大防止対策と生産状況について

毎朝の検温、マスク着用、入館時の手指消毒、手洗い、うがいの徹底については感染防止策の基本として実践し、下記の内容についても全社員の共通認識として徹底しております。

対策内容	内容、基準等
新型コロナ感染症ハンドブックの配布	新型コロナに感染した際の具象的な行動指針を小冊子にまとめ、社員全員に配布。社員の家族も含めた行動基準、判断基準を統一。
テレワークの活用促進	緊急事態宣言に従い、テレワークへの移行を推進。
来訪者の事業所立ち入り	原則、自粛をお願いしております。
海外出張、国内出張、外出	海外出張、国内出張は原則、禁止としており、外出については必要に応じて安全を確保しながら実施。
社内研修、社内会議、社外開催セミナー	WEB会議システムを活用し、直接の接触を減らしております。
飛沫感染防止対策	簡易パーティションにより、業務中の飛沫感染を防止。



(1月を基準値とした2~4月の生産推移)

## 郡山ヒロセ電機 用地取得

郡山ヒロセ電機は、4月30日福島県郡山市と「郡山西部第一工業団地」内の土地を取得する契約を締結いたしました。



郡山工場での生産実績・事業継続性を前提に、中長期的な「ものづくり力の進化・拡大」、また、予期せぬ自然災害等も含めての「安全性・利便性の向上」に向け、当該土地を取得する運びとなりました。

現工場の約1.7倍の用地を有効に活用し、国内工場としての機能強化を目指します。また、さらなる品質の向上はもとより、継続的に安定した生産を目指して参ります。

土地面積：約47.7千㎡、建物の詳細は今後計画化。操業は2023年度内の予定。

## 役員人事について（異動予定日：2020年6月26日）

取締役		
代表取締役社長		石井 和徳（再任）
専務取締役	技術本部長 兼 製作本部管掌	中村 充男（再任）
取締役	製作本部長	桐谷 幸雄（再任）
取締役	管理本部長	福本 広志（再任）
取締役	営業本部長 兼 海外事業部長	佐藤 博志（再任）
取締役	ヒロセコリア株式会社 代表理事社長	イ <sup>イ</sup> サンヨフ <sup>サンヨフ</sup> 季 相燁（再任）
社外取締役		堀田 健介（再任）
社外取締役		元永 徹司（再任）
社外取締役		西松 正記（新任）
監査役		
常勤監査役		千葉 良一
社外監査役		杉島 光一（再任）
社外監査役		三浦 健太郎

\* 前取締役 岡野 広明は6月26日付 退任



## 1. 中期事業展開の方向性

現時点で新型コロナウイルスの当社ビジネスに及ぼす中期的な影響を見通す事は極めて難しいですが、

(1) 従業員 (2) 顧客 (3) 取引先 (4) 地域社会 (5) 株主といった全てのステークホルダーを重視し、保有する金融資産及び今後創出する営業キャッシュフローを有効活用し、持続性を最優先した事業運営に努めて参ります。

## 2. 中期資本政策の公表について

中期資本政策(株主還元策)については、中期的な一定規模の自社株買いも含めて検討してきましたが、2020年度業績は減収減益予想を余儀なくされ、特にここ数年成長を目指してリソース投入を強化してきた自動車事業は当面相当厳しいビジネス環境が想定されます。

このような状況下、今後の持続的安定成長を目指し、中期事業計画の再構築を進めます。中期資本政策はこの再構築の目途が立った段階で公表させていただきたいと思っております。

なお、この様な状況下ですが、1株当り配当240円は2020年度も堅持し、実行面での株主還元は継続させていただきます。

